

取扱説明書
Operating Instructions

TV-FM-AM 3バンド レシーバー
 TV-FM-AM 3-BAND RECEIVER

品番 RF-HR50

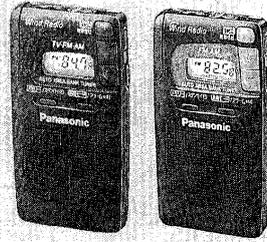
FM-AM 2バンド レシーバー
 FM-AM 2-BAND RECEIVER

品番 RF-HR30

このたびは、レシーバーをお
 買い上げいただき、まことに
 ありがとうございました。

■この説明書と保証書をよく
 お読みのうえ、正しくお使い
 ください。そのあと大切に
 保存し、必要なときお読
 みください。

■保証書は、必ず「お買い上
 げ口・販売店名」などの記
 入を確かめて、販売店から
 お受け取りください。



RF-HR50 RF-HR30

付属品

- 単4形乾電池 (2本)
- キャリングケース

保証書付

上手に使うって上手に節約

松下電器産業株式会社 オーディオ事業部

〒571 大阪府門真市松生町1番4号 ☎(06)909-1021

Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. Audio Division

1-4 Matsuo-cho, Kadoma City, Osaka, Japan 571 ☎(06)909-1021

持込修理

パナソニック音響製品保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した
 場合には本書裏面記載内容で無料修理を行なうことを
 お約束するものです。詳細は裏面をご参照ください。

品番	RF-HR50/RF-HR30
保証期間	お買い上げ日から 1 年
※ お買い上げ日	年 月 日
※ お住所	〒 () 様
※ お名前	様
※ お名前	()
※ 販売店	電話() -

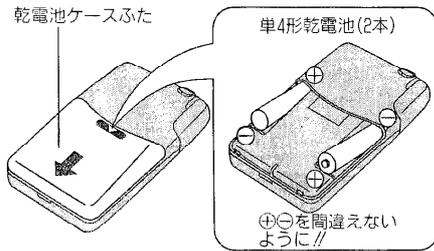
松下電器産業株式会社 オーディオ事業部

〒571 大阪府門真市松生町1番4号 TEL(06)909-1021

ご販売店さまへ ※印欄は必ず記入してお渡しく下さい。

電源について

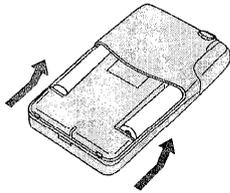
乾電池の入れかた



乾電池を入れると



- “U01”表示中に乾電池を取替えると、時計を合わせ直す必要はありません。
- 乾電池を入れる途中で、操作ボタンは押さないでください。(表示や動作が正常に働かないことがあります。)



取出すときは
矢印の方向に乾電池を
押し上げます。

乾電池使用上のご注意

乾電池は使い方を誤ると破裂や破損、液漏れの恐れがあります。次のことは必ずお守りください。

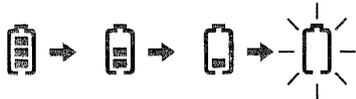
- 同じ種類の乾電池を使用してください。
- 新しい乾電池と使用した乾電池は混用しないでください。
- ⊕プラスと⊖マイナスは正しく入れてください。
- 火の中への投入や、ショート（短絡）、分解、加熱などはしないでください。
- 乾電池は充電式ではありません。

電池の交換時期

電池残量表示で電池の消耗を確認できます。表示が点滅し始めたら電池が消耗していますので、電池を交換してください。

また、電源が切れ“U01”表示になる場合も電池が消耗していますので交換してください。

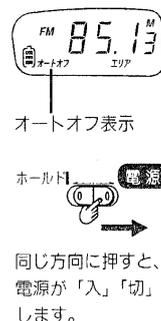
● 本機では、メモリー保護のため、乾電池の容量がわずかに残った時点寿命としています。



オートパワーオフ機能について

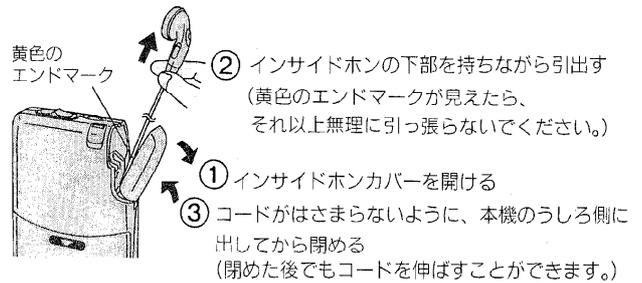
本機は、乾電池の節約のため電源を入れて90分経つと自動的に電源が切れます(オートパワーオフ機能)。続けてお使いになりたい場合は、もう一度電源を入れてください。

この機能を解除し連続してお使いになりたい方は、電源切の状態、「-」ボタンを押しながら電源「入」の操作をして、オートオフ表示を消灯させてください。同じ操作でオートパワーオフの設定/解除ができます。

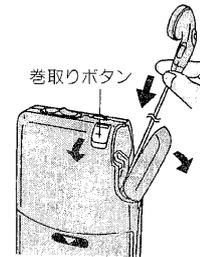


操作の前に

インサイドホンの引出しかた



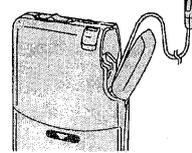
インサイドホンの巻取りかた



- インサイドホンカバーを開けて、インサイドホンの下部を持ちながら巻取りボタンを押す。
- コードが途中で止まった場合は、10cm程引出して、もう一度巻取ってください。
- インサイドホンを長く引出した状態で巻取りボタンを押すと、早く勢いよく巻取られますので注意してください。
- 収納するときはインサイドホンの方向を合わせてから入れてください。

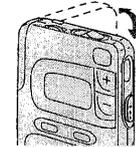
よりよい受信のために

FM, TV放送



インサイドホンのコードはアンテナとして働きますので、長く引出してください。巻取ったり束ねたりするとアンテナ効果は悪くなります。スピーカーをご使用になるときもインサイドホンを引出してください。

AM放送



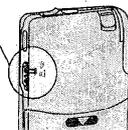
内蔵のフェライトバーアンテナが働きますので本機の向きを変えて、最もよく聞こえるようにしてください。

ご参考

建物や乗物の中などでは、電波が届きにくいので、放送が聞こえにくくなったり、聞こえないことがあります。できるだけ窓際でお聞きください。

インサイドホン/スピーカーの切換え

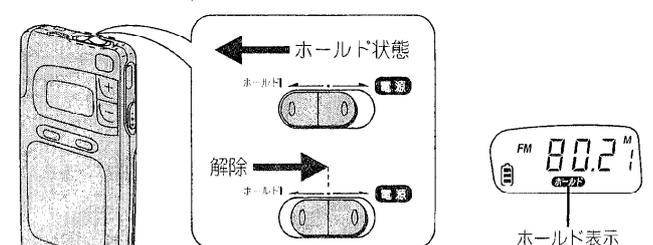
- 🔊 ……インサイドホンで聞くとき
- 🔊 ……スピーカーで聞くとき



誤操作を防ぐために(ホールド機能)

ホールド切替つまみをホールド状態の方向へ切換えると、本体のボタンが保持状態となり、押しても操作できなくなります。誤操作や誤操作による乾電池の消耗を防ぐことができます。

本体、リモコンそれぞれにホールド切替つまみがあります。操作するときはホールドを解除してください。本体がホールド状態のときは、ディスプレイに「ホールド」が表示されます。



放送局を自動で設定する

本機には放送局を自動で設定する方法が2種類あります。
 ①あらかじめ本機に記憶されている、全国41地域と新型車両のJR新幹線(東京→博多間)の車内FMサービスで聞ける放送局を設定する **オートエリアバンク**
 ②自分の地域で聞ける放送局だけ設定する **オートメモリー**

オートエリアバンク

記憶されている放送局については、別紙の「エリアバンク一覧表」を参照してください。

1 インサイドホンを引出す
(FM、TVのアンテナとして働きます。)

2 電源を入れる

電源を入れると、つまみはもとへ戻ります。電源を切るときも、同じ方向へ押ししてください。

3 「エリア」表示を選ぶ

「エリア」表示
 押すたびに
 →エリア→メモリー→(表示なし)
 と表示が変わります。

4 エリア番号表示が動きだすまで押す

設定が終わると
 エリア(地域)番号 → バンド 周波数

■「E」(エラー)表示がでたら
 インサイドホンが引出されていないと、「E」表示がでることがあります。
 エリア(地域)設定ができていないため、手動でエリアを設定するか、またはオートメモリーをしてください。

オートメモリー

RF-HR50 AM、FM、TV各9局、計27局まで記憶できます。
 RF-HR30 AM、FM(TV1-3CH)各9局、計18局まで記憶できます。

1 インサイドホンを引出す
(FM、TVのアンテナとして働きます。)

2 電源を入れる

電源を入れると、つまみはもとへ戻ります。電源を切るときも、同じ方向へ押ししてください。

3 「メモリー」表示を選ぶ

「メモリー」表示
 押すたびに
 →エリア→メモリー→(表示なし)
 と表示が変わります。

4 周波数表示が動きだすまで押す

メモリー番号
 AMから順に、周波数の低い順に各バンド9局まで記憶します。記憶できると、ピッと鳴ります。
 周波数点滅
 RF-HR50 AM→FM→TV
 RF-HR30 AM→FM

【ご注意】
 オートメモリーすると前に記憶されていた放送局はすべて消えます。

ラジオを聞く

1 電源を入れる

5 音量を調整する

4 選局する

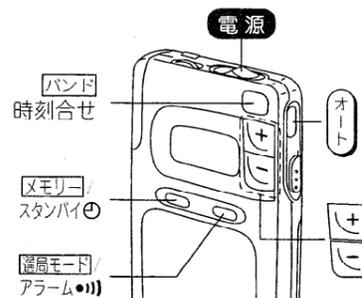
「表示なし」の場合0.6秒以上押しすと自動的に選局を開始し、受信すると停止します。(自動選局)

3 バンドを選ぶ

RF-HR50 AM→FM→TV
 RF-HR30 AM→FM(TV1-3ch)

2 選局モードを選ぶ

「エリア」……オートエリアバンクで放送局を設定したとき
 「メモリー」……オートメモリーで放送局を設定したとき
 「表示なし」……放送局を設定していないとき



エリアバンクに放送局を追加するには

AM、FM、TV(RF-HR50のみ)の各バンドに1局ずつ追加できます。

1 電源 を入れる

2 バンド を押しバンドを選ぶ

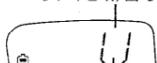
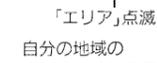
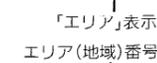
3 選局モード を押し「エリア」表示を選ぶ

4 周波数と「M」表示が点滅するまでメモリー を押す

5 周波数と「M」表示が点滅中に を押し選局する

6 メモリー を押し記憶させる

●各バンドの最後にメモリー「A」として追加されます。
 ●手順5の途中で表示がもとに戻ったときは、手順4からやり直してください。



手動でエリア(地域)を設定する

1 自分の地域のエリア(地域)番号を本機の裏面で確認する

2 電源 を入れる

3 選局モード を押し「エリア」表示を選ぶ

4 ポンと「オート」 を押す

約5秒間「エリア」表示が点滅します。

5 「エリア」表示点滅中に を押し、自分の地域のエリア(地域)番号を選ぶ

●手順5の途中で表示がもとに戻ったときは、手順4からやり直してください。

好みの放送局を設定する(マニュアルメモリー)

電波が弱くてオートメモリーできないときや、電波が強すぎて周波数がずれるときにマニュアルメモリーをしてください。
 例：FM88.1MHzをプリセットチャンネル3にメモリーする。

1 電源 を入れる

2 選局モード を押し「メモリー」表示を選ぶ

3 バンド を押しバンドを選ぶ

4 周波数と「M」表示が点滅するまでメモリー を押す

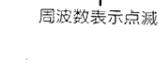
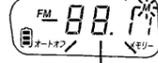
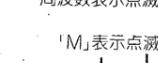
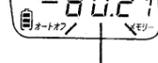
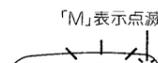
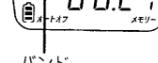
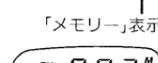
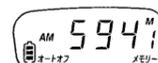
5 周波数と「M」表示が点滅中に を押し選局する

6 周波数と「M」表示が点滅中にメモリー を押す

7 「M」表示とメモリー番号が点滅中に を押しメモリー番号を選ぶ

8 メモリー を押し記憶させる

●他の放送局をメモリーするには手順3~8をくり返します。
 ●手順5~7の途中で表示がもとに戻ったときは、手順4からやり直してください。



エリアバンクの放送局や記憶した放送局を消すには

使わない放送局だけを消しておく、選局時に飛び越されるので便利です。

1 を押し、消したい放送局を選ぶ

2 周波数と「M」表示が点滅するまでメモリー を押す

3 周波数と「M」表示が点滅中に を同時に押す(「---」表示)

4 「M」表示が点滅中にメモリー を押し、放送局を消す

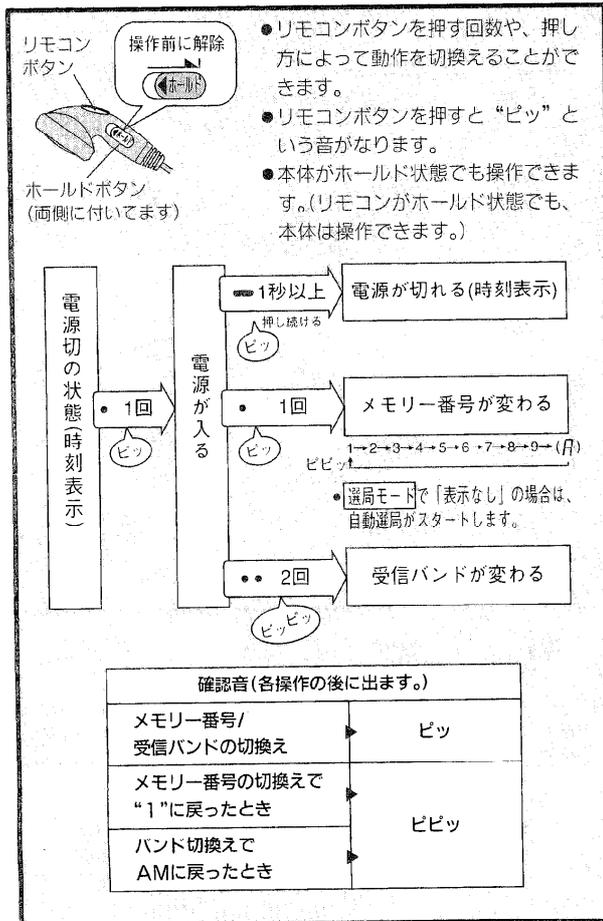
●手順3, 4の途中で表示がもとに戻ったときは、手順2からやり直してください。

■消した放送局をもう一度使うには「エリア」表示のとき……オートエリアバンク操作を行う。
 「メモリー」表示のとき……もう一度メモリー操作を行う。

【ご注意】

本機のTV受信回路はFM受信回路と兼用しています。このため、地域によってはTVの2または3チャンネルの音声受信時に、FM放送が混信することがあります。

リモコンで操作する



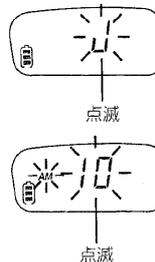
海外で受信するには

AMの受信周波数のステップが、9kHzと10kHzの国があります。海外で使用するときには、下記の操作を行ってからお使いください。

- ステップを切換えると、メモリー(あらかじめ記憶されているエリアバンクは除く)は消えます。

〈例〉10kHzにするには

- 1 **電源** を入れる
- 2 「J」表示が点滅するまで **バンド** を押す
- 3 「J」表示が点滅中に **10** を押し、使用する国のステップを選ぶ
「J-10-9」と切り替わります。
- 4 「10」表示が点滅中に「520」表示が点灯するまで **バンド** を押す
●10kHzステップに切り替わります。

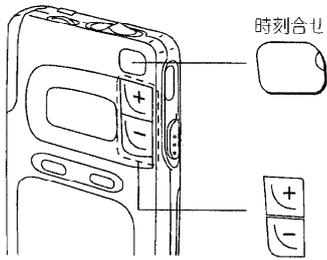


- 手順3, 4の途中で表示がもとに戻ったときは、手順2からやり直してください。
- 「9」「10」ではTVバンドは受信できません。**RF-HR50**
- 日本で受信するには、もう一度上記の操作をして「J」表示にしてください。

J地域	-----	日本国内
AM9kHz地域	-----	東南アジア ヨーロッパ
AM10kHz地域	-----	北米、中南米 東南アジアの一部

時計を合わせる

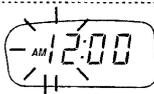
- 本機は12時間表示です。
“AM(午前)12:00”は深夜、“PM(午後)12:00”は正午です。
- 時計精度は室温において月差約1分です。



例：午前10時20分に合わせる

1 **電源** を切る

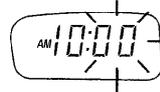
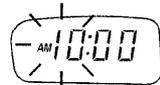
2 時刻合せ 時表示が点滅するまで押す



時表示点滅

3 時表示が点滅中に“時”を合わせ

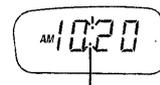
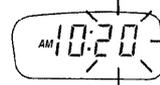
時刻合せ 押す



分表示点滅

4 “分”を合わせ

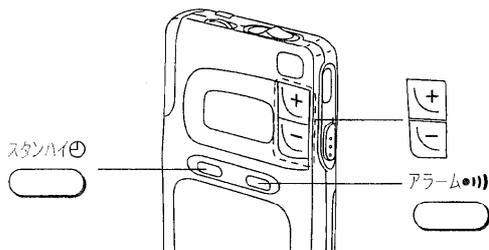
時刻合せ 押す
時計がスタートします。



コロ点滅

●手順3で表示がもとに戻ったときは、手順2からやり直してください。

アラームを鳴らす



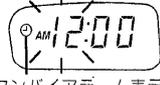
スタンバイアラームを設定

アラームを鳴らしたい時刻を設定できます。

(確認) 1. 現在時刻を確認する 2. “⊕”表示の消灯を確認する

1 **電源** を切る

2 スタンバイ 時表示が点滅するまで押す



スタンバイアラーム表示

3 時表示が点滅している間に“時”を合わせ

スタンバイ 押す



4 分表示が点滅している間に“分”を合わせ

スタンバイ 押す
スタンバイアラームが設定されます



●手順3、4の途中で表示がもとに戻ったときは、手順2からやり直してください。

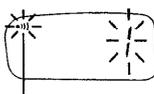
乗り越し防止アラームを設定

何分後にアラームを鳴らすかを1~180分(1分間隔)の間で設定できます。

(確認) アラーム表示 (●●) の消灯を確認する

1 **電源** を切る

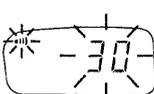
2 アラーム アラーム表示が点滅するまで押す



アラーム表示点滅

3 アラーム表示が点滅中に時間を合わせ

アラーム 押す
アラームが設定され、もとの表示に戻ります



●手順3の途中で表示がもとに戻ったときは、手順2からやり直してください。

(設定した時間がたつと、アラームが3分間鳴ります。)

アラーム音を止めるには

どのボタンを押しても止まります。

(ホールド状態のときも、操作できます。)

毎日お使いになるときは

一度設定した時間は、変えるまで記憶しています。

次回からは、

●乗り越し防止アラームの時は

●● ……アラームボタン を押し、表示を点灯

●スタンバイアラームの時は

⊕ ……スタンバイボタン を押し、表示を消灯

アラーム状態を解除するには(電源切の状態)

- 乗り越し防止アラームの時は
- ……アラームボタン を押し、表示を消灯
- スタンバイアラームの時は
- ⊕ ……スタンバイボタン を押し、表示を消灯

ご注意/ご参考

本体

- 加工・改造はしない
故障の原因になります。
- 落としたり、強い衝撃をあたえない
破損することがあります。
- 避けてほしい使用場所は
つぎのような所で使用すると故障の原因になります。
1. 風呂場など湿気の多い所
2. 倉庫などほこりの多い所
3. 暖房器の近くなど温度が高い所
- 夏の開め切った車内に放置しない
100℃に達することもありますので、キャビネットが変形、変色することがあります。
- 磁気を帯びたものを近づけない
スピーカーの磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく働かなくなることがあります。

液晶表示について

本機の表示パネルは、液晶を使用していますので極端な高/低温の場所で使用すると表示が異常になったり、表示速度が遅くなったりすることがあります。(常温に戻せば、もとに戻ります。)

電池の持ち運び

ポケットやかばんに入れるときは、ネックレスなどの金属物といっしょにしないでください。ショートし、発熱、発火する危険があります。

インサイドホン

- 耳をあまり刺激しないよう、また周囲の人へ迷惑にならない程度の適度な音量でお楽しみください。
- 交通安全のため、自転車やバイク、自動車などの運転中は絶対に使用しないでください。
歩行中でも音量を上げ過ぎると外の音が聞こえにくくなり危険ですので、踏切や横断歩道などでは周囲の交通に充分注意してください。
- 使用しないときは、コードのからみを防ぐため、インサイドホンコード巻取りボタンを押して、コードを巻取ってください。ポケットに入りやすくなります。

お手入れについて

- 柔らかい布でふいてください。汚れがひどいときは、水か石けん水を含ませた布でふき、後は空ぶきしてください。
- アルコールやシンナーは使わないでください。
 - 化学ぞうきんをご使用のときは、その説明書をご覧ください。

道路交通情報について

道路交通情報サービスを実施している場所で、1620kHzまたは1629kHzを選局すると、道路交通情報を聞くことができます。

故障かな!?

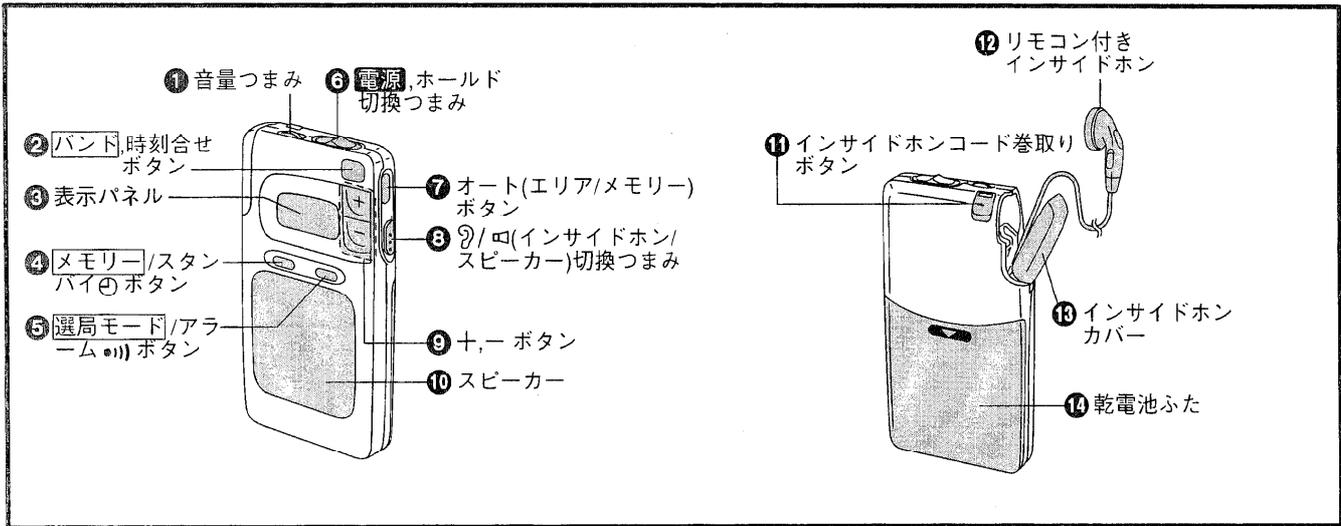
こんなときは	ここをご確認ください
操作ができない	●ホールド状態になっていませんか?
表示パネルに“U01”表示が出る	●乾電池が古くなっていませんか?
表示パネルに“E”表示が出る	●手でエリアを選びます。 ●インサイドホンを引出します。
表示パネルに“—”表示が出る	●電波をさえぎらない場所で再度、オートメモリーを行なってください。
“エリア”表示が出ない。	●周波数ステップを“J”表示にしていますか。 (8ページ「海外で受信するには」参照)

- 本機を他のラジオやテレビなどの電気機器の近くで使用すると、互いに干渉しあって雑音が入ることがあります。
- 本機を0℃前後から暖かい場所へ急に移したとき、正常に動作しないことがあります。これは、本機の動作部に露が発生したためで、約60分で正常に戻ります。

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です。)

お買い上げ日	年	月	日	品番	RF-HR50 RF-HR30
販売店名				☎()	—
おご相談窓口				☎()	—

各部のなまえ



Operating Instructions

- ① **VOLUME control**
- ② **BAND/TIME SET button**
- ③ **Display**
- ④ **MEMORY/STANDBY button**
- ⑤ **STATION MODE/ALARM button**
- ⑥ **POWER/HOLD selection switch**
 - The power supply of this unit will automatically switch off after 90 minutes to save power. (AUTO POWER OFF function.)
 - The buttons on the unit can be switched to the hold state so that they cannot be operated even if pressed.
- ⑦ **AUTO button**
- ⑧ **Earphone/Speaker selection control**
- ⑨ **"+" and "-" buttons**
 - Used to increase ("+") or decrease ("-") the reception frequency and time settings.
- ⑩ **Speaker**
- ⑪ **Earphone cord rolling button**
- ⑫ **Earphone with remote controller**
- ⑬ **Earphone cover**
- ⑭ **Battery cover**

How to draw out the earphone

1. Open the earphone cover.
2. Draw out the earphone cord, while holding the bottom of the earphone. (Stop drawing out the cord when you see a yellow end-mark.)
3. Close the cover so that the cord will be out through the opening on the rear side of the unit and won't be caught in the cover. (You can draw out the cord also after closing the cover.)

How to roll up the cord

- Open the earphone cover, and slide down the earphone cord rolling button while holding the bottom of the earphone.
- When the cord stops being rolled up halfway, draw out the cord for about 10 cm or so, and then roll up again.
- When a large amount of the earphone cord has been drawn out, it will be rolled up too quickly when the rolling button is slid down.
- When putting back the earphone inside the cover, be careful of the direction of the earphone.

HOLD function
Use to prevent unintended operation. Each main unit and earphone has a hold switch. You cannot activate the unit's buttons when this switch is set to HOLD (HOLD state). Before using these button, release the hold state.

Selecting an area automatically (Auto area bank function)

1. Draw out the earphone.
2. Turn on the power.
3. Press STATION MODE to select the area ("エリア").
4. Press AUTO until the display moves.

Presetting broadcast stations automatically (Auto memory function)

1. Draw out the earphone.
2. Turn on the power.
3. Press STATION MODE to select the memory ("メモリー").
4. Press AUTO until the display moves.

Listening to the radio

1. Draw out the earphone.
2. Turn on the power.
3. Press STATION MODE to select the station mode.
4. Press BAND to select the band.
5. Press ("+") or ("-") to select the desired station.
6. Adjust the volume.

Selecting the area manually (Manual area function)

1. Draw out the earphone.
2. Turn on the power.
3. Press STATION MODE to select the area ("エリア").
4. Press AUTO.
5. While "エリア" is flashing, press "+" or "-" to select the desired area number.

Presetting broadcast stations manually (Manual memory function)

1. Draw out the earphone.
2. Turn on the power.
3. Press STATION MODE to select the memory ("メモリー").
4. Press BAND to select the band.
5. Press MEMORY until the display flashes.
6. While the display is flashing, press "+" or "-" to select the broadcast frequency.
7. While the display is flashing, press MEMORY.
8. While the display is flashing, press "+" or "-" to select the desired memory channel number.
9. Press MEMORY.

Setting the time

1. Turn off the power.
2. Press TIME SET until the hour display flashes.
3. While the hour display is flashing, press "+" or "-" to select the hour, and then press TIME SET.
4. While the minute display is flashing, press "+" or "-" to select the minutes, and then press TIME SET. The time will start counting.

Using the alarm

Using the destination alarm
The amount of time to elapse before the alarm sounds can be set to between 1 and 180 minutes (in 1-minute steps).

- Preparation:**
- Check that the "Ⓜ" display is switched off.
1. Turn off the power.
 2. Press ALARM until "Ⓜ" display flashes.
 3. While "Ⓜ" is flashing, press "+" or "-" to set the time, and then press ALARM. When the amount of time set has elapsed, the alarm will sound for three minutes.

Using the standby alarm

The alarm can be set to sound when the setting time arrives.

- Preparation:**
- Check that the time has been set.
 - Check that the "Ⓜ" display is switched off.
1. Turn off the power.
 2. Press STANDBY until the hour display flashes.
 3. While the hour display is flashing, press "+" or "-" to set the hour, and then press STANDBY.
 4. While the minute display is flashing, press "+" or "-" to set the minutes, and then press STANDBY.

Stopping the alarm

Pressing any button will stop the alarm. (This is true even if the unit is in the hold state.)

Cancelling the alarm setting (Power off state.)

For the destination alarm:
Press ALARM.
The display will then switch off.

For the standby alarm:
Press STANDBY.
The display will then switch off.

Using the alarm every day

The time which has been set will continue to be memorized until you change it.

For the destination alarm:
Press ALARM.
The display will illuminate.

For the standby alarm:
Press STANDBY.
The display will illuminate.

When using overseas (except for TV)

This unit can be used overseas. Before operation, proceed with the following steps and adjust the AM step frequency.

1. Turn on the power.
2. Press BAND until "J" display flashes.
3. While "J" display is flashing, press "+" or "-" to set the frequency step of your desired area.
4. Press BAND until the flashing display turns to illuminate the another display.

J—10—9

- J: Japan
- 9: South East Asia, Europe
- 10: North America, South America, A part of South East Asia.

保証とアフターサービス よくお読みください。

修理・お取扱い・お手入れ

などのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へ

お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理相談窓口」へ／
- その他のお問い合わせは、「お客様相談センター」へ／

■保証書（表紙下）

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みのと、保存してください。

保証期間—お買い上げ日から1年間

■修理を依頼される時

「故障かな?」に従って調べていただき、直らないときにはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理させていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品は、ご希望により有料で修理させていただきます。ただし、補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

お客様相談センター

☎ 0120-878-365

フリーダイヤル（料金無料）年中無休／受付9時～20時

International Customer Care Center 海外ご相談センター

Consultation about products of specifications (export models, overseas production models and tourist models)

海外仕様商品(輸出商品・海外生産品・ツーリスト製品)についてのご相談は…

TOKYO ☎ (03)3256-5444
AKIHABARA 秋葉原
1-8-1 Sotokanda Chiyoda-ku Tokyo

OSAKA ☎ (06)645-8787
NIPPOMBASHI 日本橋
4-10-2 Nippombashi Naniwa-ku Osaka

修理ご相談窓口

北海道地区

札幌 ☎ (011)894-1251 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	帯広 ☎ (0155)33-8477 帯広市西19条南1丁目7-11	函館 ☎ (0138)53-7107 函館市山の手1丁目1-15
旭川 ☎ (0166)31-6151 旭川市2条通21丁目左1号		

東北地区

青森 ☎ (0177)39-9712 青森市大字八ッ役字矢作1-37	岩手 ☎ (0196)39-5120 盛岡市羽場13地割30-3	山形 ☎ (0236)41-8100 山形市流通センター3丁目12-2
秋田 ☎ (0188)26-1600 秋田市御所野湯本2丁目1-2	宮城 ☎ (022)375-2512 仙台市泉区市名坂字清水端59-2	福島 ☎ (0243)34-1309 福島県安達郡本宮町字南ノ内65

首都圏地区

栃木 ☎ (028)632-8450 宇都宮市中央1丁目8-13	千葉 ☎ (043)251-3537 千葉市稲毛区園生町369-1	神奈川 ☎ (045)847-9720 横浜市港南区日野5丁目3-16
群馬 ☎ (0273)52-1217 高崎市秋原町沖中205-18	船橋 ☎ (0473)34-5111 船橋市本中山6丁目11-7	新潟 ☎ (025)286-0171 新潟市東明1丁目8-14
両毛 ☎ (0276)25-6870 太田市東新町244-1	柏 ☎ (0471)63-8905 柏市北柏1丁目7-6	佐渡 ☎ (0259)23-2898 両津市秋津字境108-1
水戸 ☎ (029)225-0119 水戸市柳河町309-2	東京 ☎ (03)5477-9780 東京都世田谷区経堂5丁目26-8	長岡 ☎ (0258)28-2111 長岡市寺島町308-12
つくば ☎ (0298)55-7860 つくば市梅園2丁目1-13	山梨 ☎ (0552)22-5171 甲府市下飯田2丁目1-27	上越 ☎ (0255)44-6871 上越市大字藤野新田字大割353-3
埼玉 ☎ (048)728-8960 桶川市赤堀2丁目4-2		

中部地区

石川 ☎ (0762)94-2683 石川県石川郡野々町稲荷3丁目80	長野 ☎ (0263)58-0073 松本市大字笹賀7600-7	岐阜 ☎ (058)323-6010 岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30
富山 ☎ (0764)32-8705 富山市寺島1298	静岡 ☎ (054)287-9000 静岡市西島765	高山 ☎ (0577)33-0613 高山市花岡町3丁目82
福井 ☎ (0776)54-5606 福井市開発4丁目112	愛知 ☎ (052)614-3136 名古屋南区西又兵衛町3-48	三重 ☎ (0592)55-1380 久居市森町字北谷1920-3

近畿地区

滋賀 ☎ (0775)82-5021 守山市勝部町260	大阪 ☎ (06)359-6225 大阪市北区本庄西1丁目1-7	和歌山 ☎ (0734)75-1311 和歌山市中島499-1
京都 ☎ (075)672-9636 京都市南区上鳥羽石橋町20-1	奈良 ☎ (07435)9-2770 大和郡山市椎木町404-2	兵庫 ☎ (078)272-6645 神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6

中国地区

鳥取 ☎ (0857)26-9695 鳥取市安長295-1	出雲 ☎ (0853)21-3133 出雲市渡橋町416	広島 ☎ (082)295-5011 広島市西区南観音8丁目13-20
米子 ☎ (0859)34-2129 米子市米原4丁目2-33	浜田 ☎ (0855)22-6629 浜田市下府町327-93	山口 ☎ (0839)89-4445 山口市大字佐山1120-1
松江 ☎ (0852)23-1128 松江市西津田2丁目10-19	岡山 ☎ (086)292-1162 岡山県都窪郡早島町矢尾807	

四国地区

香川 ☎ (0878)74-6200 香川県綾歌郡国分寺町新名663-1	高知 ☎ (0888)66-3142 南国市岡豊町中島331-1	愛媛 ☎ (089)971-2144 松山市土居田町750-2
徳島 ☎ (0886)98-1125 徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108		

九州地区

福岡 ☎ (092)593-9036 春日市春日公園3丁目48	大分 ☎ (0975)56-3815 大分市萩原4丁目8-35	天草 ☎ (0969)22-3125 本渡市港町18-11
佐賀 ☎ (0952)26-9151 佐賀市本庄町大字本庄896-2	宮崎 ☎ (0985)85-6530 宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2	鹿児島 ☎ (099)250-5657 鹿児島市与次郎1丁目7-36
長崎 ☎ (0958)30-1658 長崎市東町1949-1	熊本 ☎ (096)367-6067 熊本市健康本町12-3	大島 ☎ (0997)53-5101 名瀬市欠之崎町10-15

沖縄地区

沖縄 ☎ (098)877-1207 浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

定格

受信周波数:

バンド 機種名	FM	TV	AM
RF-HR50	(AMステップ:J) 76.0~90.0MHz	1~12ch	(AMステップ:J,9kHz) 522~1629kHz
	(AMステップ:9,10kHz) 87.5~108MHz		(AMステップ:10kHz) 520~1710kHz
RF-HR30	(AMステップ:J) 76.0~90.0MHz (1V1~3ch)	—	(AMステップ:J,9kHz) 522~1629kHz
	(AMステップ:9,10kHz) 87.5~108MHz		(AMステップ:10kHz) 520~1710kHz

スピーカー: 3.6cm 丸形, 8Ω

実用最大出力: 80mW(EIAJ)

電源: DC3V(単4形乾電池×2本使用)

最大外形寸法: 61.9(W)×104.2(H)×19.3(D)mm(EIAJ)

重量: RF-HR50 約102g(乾電池含む)

RF-HR30 約101g(乾電池含む)

電池持続時間(EIAJ)

品番	インサイドホン使用	スピーカー使用
RF-HR50	TV(4~12ch): 約13時間	約9時間
	FM/TV(1~3ch): 約14時間	約10時間
	AM: 約22時間	約14時間
RF-HR30	FM(TV1~3ch): 約14時間	約10時間
	AM: 約22時間	約14時間

●ナショナルネオ《黒》R03使用時

★電池持続時間は使用条件により、短くなることがあります。

★この定格は性能向上のため変更することがあります。

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
(イ)無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本書をご持参ご提示いただきお申しつけください。
(ロ)お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くの修理相談窓口にご連絡ください。
- ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
- ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けにならない場合には、お近くの修理相談窓口へご連絡ください。
- 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(イ)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
(ロ)お買い上げ後の輸送、落下などによる故障及び損傷
(ハ)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧などによる故障及び損傷
(ニ)車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
(ホ)一般家庭用以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障及び損傷
(ヘ)本書のご提示がない場合
(ト)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- お近くの修理相談窓口は左記の一覧表をご参照ください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にお問合わせください。

※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。

※ This warranty is valid only for Japan.